

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 1月 25日

公表: 令和 6年 1月 31日

事業所名 児童発達支援くるく3

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		おやつを食べる部屋と療育の部屋を分け十分なスペースを確保しています。	活動内容によっては部屋を分けて行なうことを協議する必要があります。
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		利用人数に応じて、若干多めに職員の配置を行なっています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		トイレの順番待ちの目印や手洗い場の踏み台を用意し配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		支援終了後、速やかに清掃と消毒を実施すると共に、玩具の消毒も定期的に行なっています。また、不必要な情報がないように必要なものだけ出すように工夫しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		活動前に打合せ時間を必ず設けています。	職員全員の出勤が揃う日が少ないので、情報共有がしっかり行なえるよう日々努めております。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者の方からいただいたアンケート結果をHP上に公表しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		第三者による評価を行いたいと思っておりますが具体的な動きには繋がっていない為、今後実施したいと考えております。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		新人研修や外部研修に参加しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		アセスメントと事業所内相談を定期的実施し、個別支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		利用児の特徴・特性に合った支援計画の作成に努めています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		打合せを行ない、その内容を計画に反映させています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		職員全体で打合せを行い活動内容を決めています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		運筆、運動遊び、製作など月を通して様々な活動に取り組めるよう計画しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>			土曜・祝日は全体で打合せをする時間が十分に設けられない時があるため、事前の打ち合わせを行っていく必要があると考えています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		その日あった事や共有事項を日誌や日案に記載することや、終礼で伝えるなどして職員全員が把握できるように努めています。	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		前回の反省を踏まえ活動内容を検討し設定しています。		

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		全職員でカンファレンスを行ない、より良い支援計画作成に努めております。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保健センターや相談支援事業所等と連携を取り、支援を行なっております。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		該当するお子様は通所しておりません。	該当するお子様は現在通所していないが、今後必要があれば様々な機関と連携を図りたいと考えております。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		該当するお子様は通所しておりません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		園長会に参加したり、送迎時に園の職員と情報共有をし相互理解を図っています。	関係機関連携会議の機会が持ていないので、必要に応じて計画していきたいと考えています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者からの要望で学校に提出するため発達検査を行ないました。	今後必要に応じて小学校との情報共有を検討していく必要性があります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			コロナが5類に移行したので、今後は交流の機会を作っていこうと検討しております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			今後の開催について検討をしていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		職員間で連携し、相談できる体制を整えております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月おたよりで発信をしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			

	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		単語や絵カードを使い、わかりやすく端的に伝えるなど、利用者に合わせた対応を心掛けています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		活動内容等模索しているところであり、今後実施したいと考えております。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			各種訓練は実施しているが、保護者への周知が確実に行なえていません。今後はお知らせなどで実施内容をご案内したいと考えております。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		アレルギー対応を原則行なっておらず、見学時や契約時に保護者にご了承を頂いております。通所後に発疹などの症状が見られた場合には速やかに保護者へ連絡し対応させて頂いております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			事業所内で身体拘束を実施した事例はありませんが、身体拘束における指針を作成しております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。